

2010年8月期 第2四半期業績 及び通期業績見通し

大西 秀亜

株式会社ファーストリテイリング
グループ執行役員 CFO

1

グループ執行役員CFOの大西です。
2010年8月期第2四半期業績、及び
通期の業績見通しについてご説明します。

I. 第2四半期決算概要	P3	~	P14
II. 2010年8月期業績予想	P15	~	P21
III. ご参考資料	P22		

【資料文中のグループ事業の表示について】

各グループ事業の構成は、以下のとおりです。

国内ユニクロ事業：株式会社ユニクロの数値が表示されています。

海外ユニクロ事業：中国・香港、韓国、シンガポール、英国、米国、フランス、ロシアにおけるユニクロ事業が含まれています。
なお、中国については決算期を変更したことから2010年8月期については2009年6月から2010年8月までの14ヶ月を連結対象期間としております。

国内関連事業：国内を中心に展開しているアパレル小売事業(ユニクロ事業除く)のことです。

ジーユー事業、靴事業、キャビン事業が含まれています。

グローバルブランド事業：グローバルに展開中、もしくは展開する可能性のあるブランド事業(ユニクロ事業除く)です。
セオリー事業、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業が含まれています。

【将来予測に関するご注意】

本資料に掲載されている業績予想、計画、目標数値などのうち、歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報に基づき作成した将来情報です。実際の業績は、経済環境、市場の需要・価格競争に対する対応、為替などの変動により、この業績予想、計画、目標数値と大きく異なる場合があります。

【連結】2010年8月期 第2四半期実績(累計)

売上高 : 4,709億円 (前年同期比 +31.8%)
営業利益 : 998億円 (前年同期比 +43.0%)
経常利益 : 965億円 (前年同期比 +52.8%)

	2009年8月期 2Q累計実績	2010年8月期 2Q累計実績			
		直近予想 (1/8時点)	実績(累計)	前年同期比	
				前年同期比	直近予想比
売上高 (売上比)	3,574 100.0%	4,595 100.0%	4,709 100.0%	+31.8%	+2.5%
売上総利益 (売上比)	1,780 49.8%	2,335 50.8%	2,463 52.3%	+38.3% (+2.5p)	+5.5%
販管費 (売上比)	1,081 30.3%	1,445 31.4%	1,464 31.1%	+35.3% (+0.8p)	+1.3%
営業利益 (売上比)	698 19.5%	890 19.4%	998 21.2%	+43.0% (+1.7p)	+12.2%
経常利益 (売上比)	631 17.7%	865 18.8%	965 20.5%	+52.8% (+2.8p)	+11.6%
当期利益 (売上比)	355 9.9%	480 10.4%	553 11.8%	+55.7% (+1.9p)	+15.3%

単位: 億円

3

のれん償却額 2010年8月期2Q累計: 37億円 2009年8月期2Q累計: 23億円

2010年8月期 第2四半期累計の連結業績についてご説明します。

売上高は4,709億円、前年同期比31.8%増、
 営業利益は998億円、同43.0%増、
 経常利益は965億円、同52.8%増、
 大幅な増収増益を達成致しました。



【連結】第2四半期(累計) 増収増益の要因

売上高 4,709億円 (前年同期比 +31.8%)

国内ユニクロ事業 +639億円

海外ユニクロ事業 +218億円

グローバルブランド事業 +285億円

売上高総利益率 52.3% (前年同期比 +2.5p)

国内ユニクロ事業での改善 +2.3p

売上高販管費率 31.1% (前年同期比 +0.8p)

販管費比率の高い海外ユニクロ事業、グローバルブランド事業の拡大

営業利益率 21.2% (前年同期比 +1.7p)

経常利益率 20.5% (前年同期比 +2.8p)

円高の進展による為替差損の発生 29億円

4

まず売上高ですが、4,709億円、前年同期比1,135億円の増収でした。

主な増収の要因は、好調な国内ユニクロ事業が639億円の増収になったこと、海外ユニクロ事業が218億円の増収となったこと、2009年8月期の第3四半期から連結を開始したセオリー事業によりグローバルブランド事業が285億円の増収となったことによります。

売上高総利益率は、前年同期比2.5ポイント改善いたしました。これは、国内ユニクロ事業において、粗利益率が2.3ポイント上昇したことが要因です。

販管費は、前年同期比で382億円増えており、販管比率は0.8ポイント上昇いたしました。これは、比較的販管比率が高い海外ユニクロ事業、グローバルブランド事業の構成比が高まったことによります。

これらの結果、営業利益は998億円、前年同期比43.0%の増益となり、営業利益率は21.2%と前年同期比で1.7ポイント改善いたしました。

また、経常利益につきましては965億円、前年同期比52.8%増、経常利益率は20.5%と、前年に比べて2.8ポイント改善いたしました。

営業外損益の内訳としては主に、海外子会社向け貸付金にかかる評価差損などで為替差損が29億円発生しておりますが、前年同期に比べて金額が減少しております。

第2四半期(累計) グループ事業別実績

単位: 億円

		2009年8月期	2010年8月期	
		2Q累計実績	2Q累計実績	前年同期比
国内ユニクロ事業	売上高	2,962	3,602	+ 21.6%
	営業損益	688	937	+ 36.3%
	(売上比)	23.2%	26.0%	+ 2.8p
海外ユニクロ事業	売上高	186	405	+ 117.0%
	営業損益	16	58	+ 267.2%
	(売上比)	8.6%	14.6%	+ 6.0p
国内関連事業	売上高	244	242	0.8%
	営業損益	11	10	-
	(売上比)	-	-	-
グローバルブランド事業	売上高	169	455	+ 168.7%
	営業損益	24	43	+ 76.4%
	(売上比)	14.7%	9.6%	5.1p

主な適用為替レート

2010年8月期(第2四半期累計) 1USD= 89.9円 1EUR=129.2円 1GBP=144.4円 1RMB=13.3円 100KRW= 7.7円

2009年8月期(第2四半期累計) 1USD= 96.0円 1EUR=127.6円 1GBP=148.8円 1RMB=14.8円 100KRW= 7.1円

5

こちらのスライドでは、グループ事業別の業績を示しております。

好調な売上を背景に大幅増益を達成

単位: 億円

	2009年8月期 2Q累計実績	2010年8月期 2Q累計			
		直近予想 (1/8時点)	実績	前年同期比	直近予想比
売上高 (売上比)	2,962 100.0%	3,530 100.0%	3,602 100.0%	+21.6%	+2.0%
売上総利益 (売上比)	1,437 48.5%	1,728 49.0%	1,828 50.8%	+27.2% (+2.3p)	+5.8%
販管費 (売上比)	749 25.3%	863 24.4%	890 24.7%	+18.9% (0.6p)	+3.2%
営業利益 (売上比)	688 23.2%	865 24.5%	937 26.0%	+36.3% (+2.8p)	+8.4%

6

まず、国内ユニクロ事業ですが、売上高は3,602億円、前年同期比21.6%増、営業利益は937億円、36.3%増と、大幅な増収増益を達成致しました。

なお、この水準は1月8日に発表した業績予想より、売上高で72億円、営業利益でも72億円上回るものとなっております。

項目ごとにつきましては、次のスライド以降でご説明させていただきます。

【国内ユニクロ事業】売上高の状況

2Q(累計) 売上高 3,602億円 (前年同期比 +21.6%)

既存店売上高 前年比 +13.1% (客数 +11.7%、客単価 +1.3%)

- ・ 秋冬シーズンの新商品が好調(秋物:ネオレザーなどのアウター、冬物:プレミアムダウンウルトラライトジャケットなど)
- ・ パリ グローバル旗艦店のオープン、「+J」の全世界での販売開始、銀座店の増床リニューアルオープンなどが話題になり集客につながった
- ・ 「FR創業60周年記念キャンペーン」の実施(11月21日～12月31日)
- ・ ヒートテック販売数量増加による増収効果

ユニクロ直営店 前年同期末比 25店舗増 (2010年2月末 771店舗)

前年比増減率	2010年8月期							
	1Q	12月	1月	2月	2Q	上期	3月	
既存店計	売上高	+20.8%	+11.5%	7.2%	+1.8%	+4.4%	+13.1%	16.4%
	客数	+16.1%	+13.4%	2.3%	+5.6%	+6.9%	+11.7%	10.7%
	客単価	+4.1%	1.7%	5.0%	3.7%	2.4%	+1.3%	6.4%

FC店舗20店舗を除く

7

売上高21.6%増の要因は、既存店売上高が13.1%増と大幅な伸びとなったこと、直営店が前年同期末に比べて25店舗増え、771店舗となったことによります。なお、既存店売上高伸び率の内訳は、客数が11.7%増、客単価が1.3%増となっております。

秋シーズンでは、ネオレザーをはじめとしたアウターや、ファッション性を取り入れた秋物の新商品が好調でした。冬シーズンでは、今年の新商品のプレミアムダウンウルトラライトジャケットなどが好調でした。

また、パリ グローバル旗艦店がオープンし成功したというニュース、デザイナーのジル・サンダー氏との取り組みによる「+J」を全世界のユニクロで販売を開始したこと、銀座店の増床リニューアルオープンなどが話題となり、集客につなげることができました。11月、12月には、「ファーストリテイリング創業60周年記念キャンペーン」を実施し、11月、12月の売上高を前年比で上回ることができました。また、ヒートテックの数量を大きく増やしたことも増収に寄与しております。

なお、3月の既存店売上高は16.4%の減と大きく前年の実績を割り込む結果となっておりますが、これは気温が低かったことなど天候に恵まれなかったことが要因だと考えております。

ちなみに、4月の第1週ではシルキードライ、サラファインと言った機能性インナーが好調だったこともあり、既存店売上高は前年を上回りほぼ計画通りの水準まで回復しております。

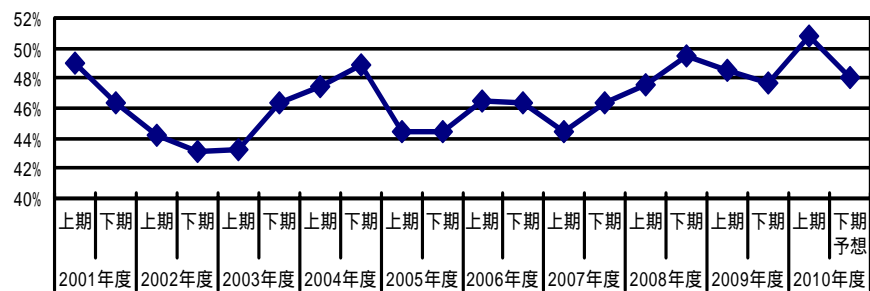
2Q(累計) 売上高総利益率 50.8% (前年同期比 +2.3p)

秋冬物商品販売好調による値引販売の減少

ヒートテックの販売好調(4,700万点を完売)

円高による調達コスト減

売上高総利益率の推移



8

国内ユニクロ事業の第2四半期累計の売上高総利益率は50.8%と、前年同期に比べて2.3ポイント上昇いたしました。

その主な要因としては、秋物、冬物の商品全般の売上が好調だったことから値引販売が減少したことです。

また、ヒートテックの販売は好調で、12月の半ばごろから欠品が目立ち始め、1月半ばには4,700万点を完売し、粗利益率改善に寄与いたしました。

なお、この上期では売上が計画を上回り、第2四半期で調達した商品の一部についてはスポットレートで仕入れを行ったことなど、為替レートも粗利益率改善に寄与しております。

【国内ユニクロ事業】 販管費

2Q(累計) 売上高販管費率 24.7% (前年同期比 0.6p)

賃借料率 0.2ポイント 固定家賃店舗で効率改善

人件費率 0.1ポイント 売上の計画上ぶれで効率改善

	09/8 2Q累計		10/8 2Q累計			
	実績	(売上比)	実績	(売上比)	増減	(売上比)
販管費合計	749	25.3%	890	24.7%	+141	0.6p
人件費	252	8.5%	300	8.4%	+48	0.1p
広告宣伝費	127	4.3%	153	4.3%	+25	+0.0p
賃借料	201	6.8%	238	6.6%	+36	0.2p
減価償却費	14	0.5%	18	0.5%	+4	+0.0p
その他	153	5.2%	179	5.0%	+25	0.2p

9

国内ユニクロ事業の販管費は前年同期比で141億円増加していますが、これは主に売上連動による経費増であり、売上高販管費比率は0.6ポイント改善しています。

まず、賃借料率は0.2ポイントの改善となりました。
店舗数の6割を占めるロードサイド店の大半は固定家賃であるため、既存店売上が好調であったことにより効率が改善しております。

また、人件費比率も、売上好調により前年同期に比べて0.1ポイント改善しております。



【海外ユニクロ事業】第2四半期実績(累計)

旗艦店好調で大幅増収、出店国すべてで黒字化

アジア 大幅増収、利益は3倍増

(店舗数 09/8末 76店舗 10/2末 108店舗)

中国、韓国を中心に32店舗増、既存店売上高は二桁増、利益は3倍増

シンガポールも3店舗を運営し売上好調、上期で黒字を達成

欧米 グローバル旗艦店が好調、英・米・仏各国とも黒字化

(店舗数 09/8末 16店舗 10/2末 17店舗)

「+J」やパリ グローバル旗艦店の成功がニュースとなりブランド認知度向上

既存店売上高は3割～5割増加、英・米・仏各国とも黒字化

単位: 億円

		2009年8月期		2010年8月期	
		2Q累計実績		2Q累計実績	
海外ユニクロ事業	売上高	186	405	+ 117.0%	10
	営業損益	16	58	+ 267.2%	
	(売上比)	8.6%	14.6%	+ 6.0p	

次に海外ユニクロ事業ですが、売上高は405億円と倍増、営業利益は58億円と前年同期比で3倍以上の拡大となりました。

なお、これは売上高、営業利益ともに計画を上回る水準となっております。

まず、アジア地区では中国、韓国を中心に店舗が32店舗増となったこと、既存店売上高が二桁増となったことで売上高は大幅増収となり、利益も前年同期比で約3倍増となっております。

2009年4月に進出したシンガポールでも3店舗を運営し、売上は好調に推移しております。この上期でも黒字を達成することができました。

次に、欧米ですが、この上期は英国、米国、フランスすべての国において黒字を達成することができました。

「+J」の展開効果やパリ グローバル旗艦店の成功でブランド認知度が向上し、既存店売上高も3割から5割伸びるなど、大幅増収を達成しております。

国内関連事業 全体ではほぼ計画通りの業績

ジーユー事業 売上好調続く、業績は計画対比で上ぶれ

靴事業 フットパーク閉店セールにより赤字幅拡大
4月1日 靴事業を国内ユニクロ事業へ統合

キャビン事業 販売苦戦続く、業績は計画対比で下ぶれ

単位: 億円

		2009年8月期	2010年8月期	
		2Q累計実績	2Q累計実績	前年同期比
国内関連事業	売上高	244	242	0.8%
	営業損益	11	10	-
	(売上比)	-	-	-

11

次に国内関連事業ですが、売上高は242億円と前年同期比で若干の減収、営業損失は10億円となりました。なお、この数値はほぼ計画通りの水準となっております。

ジーユー事業は「990円ジーンズ」を発売以降、売上高は大幅に拡大し、その後も「990円ポロシャツ」、「490円Tシャツ」などの低価格商品を次々と切れ目なく展開したことで、既存店売上高の大幅増収トレンドが続いております。売上高の増加に伴い、ジーユー事業の営業利益は計画を上回り増益となっております。

また、上期では22店舗出店し、2月末では93店舗まで店舗網が拡大しております。

一方、靴事業はフットパークの閉店を進め、2月末には90店舗まで縮小いたしました。この上期にはフットパークの閉店セールを進めたことから、赤字幅は拡大いたしました。これはほぼ計画通りの水準となっております。

なお4月1日付けで靴事業は株式会社ユニクロへ統合し、「ユニクロシューズ」ブランドとして今後一層の成長を目指す計画です。

キャビン事業はファッションアパレル業界不振の影響を受け、既存店売上高の前年割れが続いており、計画に対しても下ぶれが続いております。

セオリー事業の業績が計画上ぶれ

セオリー事業 営業利益は計画対比で上ぶれ

2009年度第3四半期から連結を開始

日米で既存店売上高は増収に転じる

円高によるコスト低減により日本のセオリー事業の採算改善

コントワー・デ・コトニエ事業 ほぼ計画通りの業績

秋冬のコレクションの評価が高く、既存店売上高は増収

プリンセス タム・タム事業 ほぼ計画通りの業績

卸売販売の事業規模を縮小

単位: 億円

		2009年8月期	2010年8月期	
		2Q累計実績	2Q累計実績	前年同期比
グローバルブランド事業	売上高	169	455	+ 168.7%
	営業損益	24	43	+ 76.4%
	(売上比)	14.7%	9.6%	5.1p

12

グローバルブランド事業の業績は、セオリー事業を新規に連結したことから売上高は455億円、営業利益は43億円と、前年同期比で大幅な増収増益となりました。

セオリー事業では、日米ともに既存店売上高は増収に転じ、売上高は計画に対して上ぶれとなりました。また、円高によるコスト低減により日本のセオリー事業の採算が改善し、営業利益も計画対比で上ぶれております。

コントワー・デ・コトニエ事業は、この秋冬のコレクションの評価が高かったことから上期の既存店売上高は増収に転じ、計画通りの業績となっております。

プリンセス タム・タム事業は、卸売販売の事業規模を縮小しておりますが、ほぼ計画通りの業績となっております。

単位: 億円

	2009年8月末	2010年2月末	増 減
総資産	4,632	5,634	+1,001
流動資産	2,981	3,998	+1,016
固定資産	1,651	1,635	15
負債	2,018	2,563	+544
純資産	2,614	3,070	+456

13

2010年2月末の連結バランスシートのご説明をさせていただきます。

2009年8月末との比較では、
流動資産が1,016億円増加し、固定資産が15億円減少した結果、
全体の総資産は1,001億円増加して5,634億円となりました。

詳細については、次のスライドでご説明いたします。

【連結】B/Sのポイント (2009年8月末比較)

現金・預金及び有価証券の増加 +1,071億円 (1,697億円 2,769億円)

【国内ユニクロ事業】 営業キャッシュ・フローの増加 + 約900億円
(うち、期末日休日による買掛金増加の影響 + 325億円)

たな卸資産の減少 39億円 (745億円 705億円)

【国内ユニクロ事業】 2月末残高 501億円 (前年同期末比) + 86億円
店舗数の増加・店舗の大型化による増加 + 約45億円、
春夏物商品早期発注に伴う倉庫在庫の増加など

有形固定資産の増加 +26億円 (459億円 485億円)

【国内ユニクロ事業】 + 33億円

まず、流動資産ですが、現金・預金及び有価証券の合計額は2,769億円と、8月末比で1,071億円増加いたしました。これは、国内ユニクロ事業の営業キャッシュ・フローによる増加が約900億円あったことが主な要因です。なお、国内ユニクロ事業の営業キャッシュ・フローによる収入には、2月28日の期末日が休日であったことによる買掛金の増加325億円が含まれております。

たな卸資産は705億円と、8月末比では39億円減少しております。

なお、国内ユニクロ事業の2月末の在庫は501億円と前年同期に比べて86億円増加しております。

これは、店舗数が増えたことや店舗の大型化に伴う影響が約45億円、残りは春物、夏物商品の早期発注に伴い倉庫在庫が増えたことなどによります。

有形固定資産は、前期末比で26億円増加しております。国内ユニクロ事業の出店に伴い、33億円増加したことがその主な要因です。

売上高、利益ともに増額修正

単位：億円

	2009年 8月期実績	2010年8月期		2010年8月期		
		従来予想 (1/8時点)	前期比	修正予想 (4/8時点)	前期比	従来予想比
売上高 (売上比)	6,850 100.0%	8,200 100.0%	+ 19.7%	8,340 100.0%	+ 21.7%	+ 1.7%
売上総利益 (売上比)	3,415 49.9%	4,145 50.5%	+ 21.4% (+ 0.6p)	4,285 51.4%	+ 25.5% (+ 1.5p)	+ 3.4% (+ 0.9p)
販管費 (売上比)	2,328 34.0%	2,840 34.6%	+ 21.9% (+ 0.6p)	2,880 34.5%	+ 23.7% (+ 0.5p)	+ 1.4% (- 0.1p)
営業利益 (売上比)	1,086 15.9%	1,305 15.9%	+ 20.1% (+ 0.0p)	1,405 16.8%	+ 29.3% (+ 0.9p)	+ 7.7% (+ 0.9p)
経常利益 (売上比)	1,013 14.8%	1,255 15.3%	+ 23.9% (+ 0.5p)	1,345 16.1%	+ 32.8% (+ 1.3p)	+ 7.2% (+ 0.8p)
当期純利益 (売上比)	497 7.3%	675 8.2%	+ 35.6% (+ 0.9p)	710 8.5%	+ 42.6% (+ 1.2p)	+ 5.2% (+ 0.3p)

2010年8月期予想：設備投資額 290億円、減価償却費 110億円
 2009年8月期実績：設備投資額 226億円、減価償却費 97億円

15

2010年8月期の業績予想についてご説明します。

通期の連結売上高は、直近予想の8,200億円から8,340億円へ、

営業利益は1,305億円から1,405億円へと修正いたします。

また、経常利益は1,255億円から1,345億円へ、

当期純利益も675億円から710億円と修正いたします。

売上高90億円、営業利益75億円増額修正

単位：億円

	2009年8月期 通期実績	2010年8月期		2010年8月期		
		従来予想 (1/8時点)	前期比	修正予想 (4/8時点)	前期比	従来予想比
売上高 (売上比)	5,381 100.0%	6,150 100.0%	+ 14.3%	6,240 100.0%	+ 15.9%	+ 1.5%
売上総利益 (売上比)	2,590 48.1%	2,985 48.5%	+ 15.2% (+ 0.4p)	3,095 49.6%	+ 19.5% (+ 1.5p)	+ 3.7% (+ 1.1p)
販管費 (売上比)	1,482 27.6%	1,685 27.4%	+ 13.6% (- 0.2p)	1,720 27.6%	+ 16.0% (+ 0.0p)	+ 2.1% (+ 0.2p)
営業利益 (売上比)	1,107 20.6%	1,300 21.1%	+ 17.4% (+ 0.5p)	1,375 22.0%	+ 24.1% (+ 1.4p)	+ 5.8% (+ 0.9p)

16

国内ユニクロ事業の業績予想は、第2四半期までの上ぶれ分を反映すると同時に、第3四半期以降の業績予想を修正し、売上高6,240億円、営業利益1,375億円といたします。

これは直近の予想に比べ、売上高で90億円、営業利益で75億円の増額修正となっております。

【国内ユニクロ事業】 業績予想の前提

	2009年8月期	2010年8月期		
	実績	従来予想 (1月8日時点)	修正予想 (4月8日時点)	前期比
売上高	5,381 億円	6,150 億円	6,240 億円	+15.9%
既存店伸び率(通期)	+11.3%	+6.2%	+7.2%	4.1p
上期(実績)	+12.9%	+11.2%	+13.1%	+0.2p
下期(予想)	+9.3%	+0.0%	+0.0%	9.3p
店舗数純増(通期)	10店舗	34店舗	39店舗	+29店舗
上期(実績)	6店舗	16店舗	21店舗	+15店舗
下期(予想)	4店舗	18店舗	18店舗	+14店舗
売上高総利益率(通期)	48.1%	48.5%	49.6%	+1.5p
上期(実績)	48.5%	49.0%	50.8%	+2.3p
下期(予想)	47.7%	48.0%	48.0%	+0.3p
売上高販管費率(通期)	27.6%	27.4%	27.6%	±0.0
上期(実績)	25.3%	24.4%	24.7%	0.6p
下期(予想)	30.3%	31.4%	31.4%	+1.1p

国内ユニクロ事業の業績予想の前提は、ご覧のとおり修正しております。

下期の既存店売上高伸び率は直近予想の0%のまま変更はございませんが、下期にオープンする大型店を従来の15店舗から21店舗に増加することから売上高を18億円増額修正しております。

下期の売上高総利益率は、前年同期に比べ0.3ポイント改善することを見込んでおります。これは、前年の下期は特に第4四半期において夏物処分を大きく進めたことにより粗利益率を落としており、今年は改善することを見込んでいることによります。



【海外ユニクロ事業】通期業績予想を修正

欧米・アジアともに好調、採算性が更に向上

中国・香港・韓国 出店数増加による増収増益、
中国は上海旗艦店のコストを吸収し増益基調続く

フランス パリ グローバル旗艦店の売上は予想から大きく
上ぶれ、売上・利益ともに増額修正

英国・米国 ブランドイメージが大きく向上、
旗艦店・既存店共に売上好調、採算改善続く

ロシア 4月2日 モスクワに1号店をオープン

単位: 億円

	2009年8月期 通期実績	2010年8月期		2010年8月期		
		従来予想 (1/8時点)	前期比	修正予想 (4/8時点)	前期比	従来予想比
海外ユニクロ事業	売上高 377	700	+ 85.2%	740	+ 95.8%	+ 5.7%
	営業損益 16 (売上比) 4.3%	60 8.6%	+ 270.4% + 4.3p	75 10.1%	+ 363.0% + 5.8p	+ 25.0% + 1.5p

18

海外ユニクロ事業は、上期の業績が上ぶれたことを反映し、通期予想を売上高740億円、営業利益を75億円と増額修正いたします。

中国、香港、韓国といったアジア地区では出店数が順調に増えていることから増収増益となる見込みです。

特に中国については5月15日にオープンする予定の上海グローバル旗艦店の出店コストを吸収し、増益基調は続くものと予想しています。

フランスにつきましては、パリ グローバル旗艦店の売上は予想を大きく上ぶれており、売上、利益ともに増額修正しております。

また、英国、米国につきましてもブランドイメージが大きく向上しており、グローバル旗艦店、既存店共に売上が好調で、採算の改善が続くものと予想しております。

なお、ロシアにつきましては既にお伝えしているとおり、4月2日にモスクワに1号店をオープンしており、好調な滑り出しとなっております。

セオリー事業、プリンセス タム・タム事業を修正

セオリー事業 日本、米国ともに業績は底打ち
売上高、営業利益の上期上ぶれ分を
加味し通期業績予想を修正

コントワー・デ・コトニエ事業 業績はほぼ計画通りに進捗、修正なし

プリンセス タム・タム事業 卸売事業の縮小に伴い売上、利益
ともに若干の減額修正

単位：億円

		2009年8月期	2010年8月期		2010年8月期		
		通期実績	従来予想 (1/8時点)	前期比	修正予想 (4/8時点)	前期比	従来予想比
グローバルブランド事業	売上高	555	850	+ 52.9%	860	+ 54.7%	+ 1.2%
	営業利益	36	45	+ 22.7%	55	+ 50.0%	+ 22.2%
	(売上比)	6.6%	5.3%	1.3p	6.4%	0.2p	+ 1.1p

19

グローバルブランド事業につきましては、セオリー事業の業績の増額修正、プリンセス タム・タム事業の減額修正を行うことから、通期の業績予想を修正し、売上高860億円、営業利益は55億円といたします。

セオリー事業は、日本、米国共に業績は底打ちしており、上期で上ぶれ分を反映し売上高、営業利益を修正いたしました。

コントワー・デ・コトニエ事業の業績はほぼ計画通りに進捗しており、業績予想の修正は行いません。

なお、プリンセス タム・タム事業につきましては、卸売事業の縮小に伴い売上、利益共に若干の減額修正を行っております。

2010年8月期 グループ事業別 業績予想

国内ユニクロ事業： 増額修正
 海外ユニクロ事業： 増額修正
 国内関連事業： 修正せず
 グローバルブランド事業： 増額修正

単位：億円

		2009年8月期	2010年8月期		2010年8月期		
		通期実績	従来予想 (1/8時点)	前期比	修正予想 (4/8時点)	前期比	従来予想比
国内ユニクロ事業	売上高	5,381	6,150	+ 14.3%	6,240	+ 15.9%	+ 1.5%
	営業損益	1,107	1,300	+ 17.4%	1,375	+ 24.1%	+ 5.8%
	(売上比)	20.6%	21.1%	+ 0.5p	22.0%	+ 1.4p	+ 0.9p
海外ユニクロ事業	売上高	377	700	+ 85.2%	740	+ 95.8%	+ 5.7%
	営業損益	16	60	+ 270.4%	75	+ 363.0%	+ 25.0%
	(売上比)	4.3%	8.6%	+ 4.3p	10.1%	+ 5.8p	+ 1.5p
国内関連事業	売上高	515	470	8.8%	470	8.8%	+ 0.0%
	営業損益	5	7	-	7	-	-
	(売上比)	-	-	-	-	-	-
グローバルブランド事業	売上高	555	850	+ 52.9%	860	+ 54.7%	+ 1.2%
	営業損益	36	45	+ 22.7%	55	+ 50.0%	+ 22.2%
	(売上比)	6.6%	5.3%	1.3p	6.4%	0.2p	+ 1.1p

のれん償却額 2010年8月期予想 75億円 2009年8月期実績 64億円

2010年8月期 予想為替レート 1USD= 90.0円 1EUR=130.0円 1GBP=140.0円 1RMB=13.00円 100KRW= 7.5円

20

以上の結果、通期のグループ事業別業績予想はこのスライドのとおりです。

国内ユニクロ事業、海外ユニクロ事業、グローバルブランド事業につきましては売上高、営業利益とも増額修正しております。

国内関連事業につきましては修正はございません。

2010年8月期 年間配当金予想 230円に修正

	配当金額(1株当り通期)		
	中間	期末	通期
2008年8月期	65円	65円	130円
2009年8月期	75円	85円	160円
2010年8月期(従来予想)	100円	100円	200円
2010年8月期(修正予想)	115円 ¹	115円 ²	230円
配当金予想の修正額	+15円	+15円	+30円

1 2010年8月期の中間配当金については4月8日開催の取締役会にて決議しております。

2 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、配当金額を変更することがあります。

21

最後に配当金ですが、本日の取締役会にて2010年8月期の中間配当金は1株あたり115円と決議いたしました。

また、年間の配当金の予想は1株あたり230円と前期に比べ70円の増配を予想しております。

また、ご参考として、

・出退店の一覧、

を添付いたしておりますのでご参照ください。

以上を持ちまして、私からのご説明とさせていただきます。

ありがとうございました。

連結対象会社別出退店 実績・予想

【単位:店舗】	09年8月 実績 期末	2010年8月期							
		2Q実績(2010/2末)				通期 予想(2010/8末)			
		出店	退店	純増減	期末	出店	退店	純増減	期末
ユニクロ事業合計	862	71	17	+54	916	132	41	+91	953
国内ユニクロ事業:	770	37	16	+21	791	79	40	+39	809
直営店	750	37	16	+21	771	78	39	+39	789
大型店	71	10	0	+10	81	31	0	+31	102
標準店等	679	27	16	+11	690	47	39	+8	687
FC	20	0	0	0	20	1	1	0	20
海外ユニクロ事業:	92	34	1	+33	125	53	1	+52	144
中国(除く香港)	33	15	1	+14	47	24	1	+23	56
香港	11	1	0	+1	12	2	0	+2	13
韓国	30	16	0	+16	46	24	0	+24	54
シンガポール	2	1	0	+1	3	1	0	+1	3
英国	14	0	0	0	14	0	0	0	14
米国	1	0	0	0	1	0	0	0	1
フランス	1	1	0	+1	2	1	0	+1	2
ロシア	-	0	0	0	0	1	0	+1	1
靴事業	279	0	189	189	90	0	189	189	90
ジーユー事業	72	22	1	+21	93	47	1	+46	118
キャビン事業	205	16	20	4	201	15	23	8	197
セオリー事業	306	24	9	+15	321	37	18	+19	325
コントワー・デ・コトニエ事業	368	12	7	+5	373	35	13	+22	390
プリンセス タム・タム事業	166	2	1	+1	167	2	12	10	156
総 合 計	2,258	147	244	97	2,161	268	297	29	2,229

FCを含む店舗数